

新幹線新駅誘致の大失敗について

【ご意見】（令和6年3月4日受付）

有能なアドバイザーがいるのに未だに反省、責任、謝罪が一切無い。
多くの市民が納得できる説明を望む。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答】

新幹線新駅誘致につきましては、平成4年から平成29年までの約25年間にわたり北陸新幹線新駅誘致期成同盟会が中心となって誘致運動を行ってまいりましたが、平成29年10月にJR東日本長野支社から「技術的に困難」との回答を受け、有識者の意見を踏まえ、平成29年12月議会において、当時の岡田市長が「新幹線新駅誘致に区切りをつける」ことを表明し、誘致運動が終了しました。

12月議会の閉会あいさつの中で、当時の岡田市長は「事業を成し遂げることができなかったことを心からお詫びを申し上げます。」と述べ、市民の皆さまに経過等について丁寧に説明していくことといたしました。

また、平成30年1月の千曲市報において、「これまでの誘致運動の経過」と「誘致運動に区切りを表明した経緯」について詳細な内容を掲載し、1月24日には戸倉創造館、1月30日には更埴文化会館において市民説明会を開催し、市民の皆さまに丁寧な説明を行ってきたところです。

今後も、大型事業の実施に当たっては、市民の皆さまとの合意形成を図るため、丁寧な説明と情報発信を行い、認識を共有し理解をいただく中で、各施策の推進を図ってまいります。

担当 総合政策課